

筑波技術大学保健科学部附属東西学統合医療センター

(旧：筑波技術短期大学附属診療所) 活動報告

1. 組織 (2007年3月現在)

専任職員

所長 教授	青柳 一正 (漢方, 内科)
助教授	津嘉山 洋 (鍼灸)
看護部	菊池 典子 (師長)
	根本 由紀子
薬剤部	金子 鶴子
臨床検査部	木村 里美
放射線部	水木 知恵
統合医療センター係	瀬尾 栄一 (係長)
	井坂 京子 (主任)

併任職員

保健科学部保健学科鍼灸専攻

教授	柴崎 正修 (小児科)
教授	大越 紀明 (神経内科)
教授	形井 秀一 (鍼灸)
教授	森山 朝正 (鍼灸)
教授	坂井 友実 (鍼灸)
教授	野口栄太郎 (鍼灸)
教授	森 英俊 (鍼灸)
教授	和久田哲司 (鍼灸)
助教授	佐々木 健 (鍼灸)
助教授	藤井 亮輔 (鍼灸)
助手	木村 友昭 (鍼灸)
助手	殿山 希 (鍼灸)
技官	市川あゆみ (鍼灸)

保健科学部保健学科理学療法専攻

教授	木下 裕光 (整形外科)
教授	吉田 次男 (放射線科)

保健管理センター

教授	深間内文彦 (心療内科)
教授	市川 忠彦 (精神科)

非常勤職員

看護部	益子 詩織
臨床検査部	古澤 敏子
	望月 雅子

鍼灸部

受付	菊地 良子
	作間千鶴子
鍼灸師	堀 紀子
附属診療所研修生	25名

2. 概要

開設後15年を経過し、漢方・鍼灸・西洋医学を統合した新しい医療というコンセプトを模索している。平成17年度秋から、四年制の筑波技術大学

保健科学部附属のセンターとして活動を継続している。

地域への医療サービスの提供とともに、鍼灸学科学士の臨床実習の場として機能している。また、鍼灸師の卒後臨床研修を行う制度として、平成5年度から研修生の制度が発足している。その他、日本東洋医学会の専門医のための研修施設として医師の研修を受け入れている。

今後はより良い医療サービスの提供と充実した教育・研究活動のために、ソフト面を充実することが課題となっている。2002年6月26日には診療所内に教職員、学生の作品を展示するギャラリーがオープンし患者に好評である。

また、臨床・研究活動の他に保健学科鍼灸専攻との共同企画で公開講座を実施している。

- 1) 「家庭でできる鍼灸・手技療法」: 一般市民を対象に講義と実習を含めて行った。
 - 2) 「鍼灸・手技の臨床実技講座」: 鍼灸師を対象に実技を中心に行った。
 - 3) 「医師のための鍼灸実践講座」: 医師を対象に講義と実技を含めて行った。
- また、第18回 腎とフリーラジカル研究会 (会長 青柳一正) を2006年9月23日、つくば国際会議場で開催した。

3. 研究業績 (主に専任教員のもの)

著 書

- 1) 腎とフリーラジカル 全8集 全190頁
編集 芦田明, 佐々木 環, 青柳一正, (東京医学社)
- 2) 山下仁, 津嘉山洋: 統合医療の統計, 統合医療基礎と臨床 Revised edition 2007 Part I 【基礎編】, 日本統合医療学会, 36-45, 2007.

原 著

- 1) Motoo Osaka, Kazumasa Aoyagi, Akiko Hirakawa, Motoo Nakajima, Tomoaki Jikuya, Osamu Shigeta, Yuzuru Sakakibara.: Comparison of Hydroxyl Radical Generation in Patients Undergoing Coronary Artery Bypass Grafting with and without Cardiopulmonary Bypass. Free Radical Research 2006 Feb;40(2):127-33.
- 2) Tsukayama H, Yamashita H, Kimura T, Otsuki K.: Factors that influence the applicability of sham needle in acupuncture trials: two randomized, single-blind, crossover trials with

acupuncture-experienced subjects. Clin J Pain. 22(4)346-9, 2006

- 3) 上田正一, 森英俊, 久下浩史, 谷脇英一, 津嘉山洋, 西條一止:高齢者の鍼治療による全身皮膚温分布の変化, Biomedical Thermology, 25(3)69-74, 2006

総説・解説

- 1) 横沢隆子, 佐藤亜希子, 青柳一正:腎の老化とフリーラジカル 腎と透析, 60, 981-985, 2006
- 2) 青柳一正, 平川暁子:腎を守る私の処方 ラクトコース. 腎と透析, 61, 221-225, 2006
- 3) 山下仁, 津嘉山洋:国際化する鍼灸 その動向と展望 欧米における普及と臨床研究の進歩, 日本補完代替医療学会誌, 3(3)77-81, 2006

その他の論文など

- 1) 吉田紀明, 津嘉山洋:経口鉄剤が著効を呈した下肢静止不能症候群の1例, 内科, 98(4), 739-741, 2006
- 2) 坂口俊二, 若山育郎, 津嘉山洋:慢性腰痛症に対する皮内鍼治療臨床試験(探索的研究), 関西鍼灸大学紀要, 320-25, 2006

学会発表

- 1) 平川暁子, 中島基雄, 大坂基男, 藤森憲, 片山孝一, 菊池修一, 大場正二, 青柳一正:FI-ESRを用いた血液透析患者血漿のOHラジカル消去能の検討, 第8回腎とフリーラジカル研究会, 9月18日, つくば国際会議場
- 2) 中島基雄, 平川暁子, 大坂基男, 藤森憲, 片山孝一, 青柳一正, 森昭胤:パパイヤ発酵食品の活性酸素に対する影響:クレアチニン過酸化とFI-ESRによる検討, 第8回腎とフリーラジカル研究会, 9月18日, つくば国際会議場
- 3) 中島基雄, 平川暁子, 大坂基男, 藤森, 片山孝一, 青柳一正, 森昭胤:クレアチニン過酸化とFI-ESRによるヒドロキシルラジカルに対する影響:パパイヤ発酵食品の検討を中心として, 第25回グアニジン化合物研究会, 10月, 大阪薬業会館
- 4) Akiko Hirakawa, Moto-o Nakajima, Ken Fujimori, Motoo Osaka, Kouichi, Katayama, Syuji Kikuchi, Syohji Ohba, Kazumas Aoyagi: Analysis of hydroxyl radical scavenging activity of plasma in hemodialysis patients 国際フリーラジカル学会, スイス, 8月
- 5) Motoo Osaka, Akiko Hirakawa, Motoo Nakajima, Kazumasa Aoyagi: Comparison of 8-hydroxydeoxyguanosine and creatol as in patients undergoing coronary artery bypass

grafting 国際フリーラジカル学会 スイス 8月

- 6) 青柳一正:「特別講演」腎とフリーラジカル:20年の歩み 中之島カンファレンス 2006年7月28日 大阪国際会議場
- 7) Kazumasa Aoyagi:「特別講演」Suppressive Effect of depolymerized polyphenol product "Oligonol" for reactive oxygen in human Kazumasa Aoyagi 韓国統合医療学会 2006年8月27日 Seoul Asan 病院大講堂
- 8) Kazumasa Aoyagi:「Lunchon Seminar」Normalization of Reactive Oxygen Stress by Oligomerized Polyphenol Product "Oligonol" in Human Worldneutra 2006, Silver Legacy Resort & Casino Reno, Nevada 2006年11月5日
- 9) 津嘉山洋, 他:鍼灸臨床施設におけるClinical Auditの試み(I), 全日本鍼灸学会雑誌, 56(3), 509, 2006
- 10) 堀紀子, 津嘉山洋, 他:鍼灸臨床施設におけるClinical Auditの試み(II)-鍼灸受診患者の転帰, 全日本鍼灸学会雑誌, 56(3), 510, 2006
- 11) 山下仁, 津嘉山洋:日本の成人鍼灸受療者に関する全国規模電話調査 2005, 全日本鍼灸学会雑誌, 56(3), 503, 2006

公開講座

- 1) 津嘉山洋:医師のための鍼灸実践講座 - 総論(概観およびエビデンス). 筑波技術大学公開講座. つくば市春日筑波技術大学視覚部, 2006年9月3日